

開示しない部分並びに開示しないこととする根拠規定及び当該規定を適用する理由

文書名	不開示箇所		不開示理由
医療保護入院者の入院届	〇〇病院長の印	印影	公にすることにより、偽造等による犯罪の予防に支障を及ぼす可能性のある情報であるため。（法78条第1項第5号）
	「病名」欄	「1 主たる精神障害」	開示を前提として記録を作成しなければならないと、本人の感情や反応を考慮して記載内容が簡略化するなど、消極化、形骸化するおそれがあり、当該事務又は事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるため。（法78条第1項第7号）
		「2 従たる精神障害」	
		「3 身体合併症」	
	「生活歴及び現病歴」欄	記述欄	開示請求者以外の個人に関する情報であって開示請求者以外の特定の個人を識別することができるものであるため。（法78条第1項第2号）
		「陳述者氏名及び続柄」	
	〈現在の精神症状〉欄	全て	開示を前提として記録を作成しなければならないと、本人の感情や反応を考慮して記載内容が簡略化するなど、消極化、形骸化するおそれがあり、当該事務又は事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるため。（法78条第1項第7号）
	〈その他の重要な症状〉欄	全て	
	〈問題行動等〉欄	全て	
	〈現在の状態像〉欄	全て	
	「医療保護入院の必要性」欄	全て	
	「入院を必要と認めた精神保健指定医氏名」欄	全て	開示請求者以外の個人に関する情報であって開示請求者以外の特定の個人を識別することができるものであるため。（法78条第1項第2号）
	「同意した家族等」欄	全て	開示を前提として記録を作成しなければならないと、本人の感情や反応を考慮して記載内容が簡略化するなど、消極化、形骸化するおそれがあり、当該事務又は事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるため。（法78条第1項第7号）
	「審査会意見」欄	「日付及び意見」	